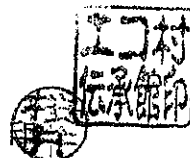


令和5年 3月 31日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市中央区
団体名 エコ村伝承館
代表者 職名 代表 氏名 桜井 良明



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和4年5月 1日付け指令(地活)第106号により、熊本市市民公益活動支援助成金の

交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開

2 助成事業の実施期間

令和 4年 4月1日 ～ 令和 5年 3月 25日

3 助成事業の内容

過去16年以上、熊本県内での活動をしている中で、熊本市内でのイベント開催をより広く展開し、多くの方に『美しい地球を守る』為に何ができるかを竹などの材料を使って、竹トンボや水鉄砲などを作る「伝承遊びのものづくり」を楽しみながら、環境学習活動を展開しました。

4 事業の成果

事業1

全年を通してのコロナ禍の中、エコ村伝承館の特長を生かし、屋外などでの3密を避けてのイベントで、熊本市内の方々からの派遣依頼に応じ、これまでに24回の派遣を実施しました。参加者数が延べ1870人、会員派遣が延べ137人活動しました。特に5月の「くまもと花と緑の博覧会」には多くの方々に集まって頂き、参加された皆さんは、地球環境保全のために自分たちは何をしなければならないかについて考えるヒントを得たばかりではなく、ものづくり体験では、親子(お年寄りと孫も)での触れ合いを含めとても楽しんで頂きました。

事業2

一泊での研修では、参加した会員に対し、活動時の注意点の説明、マイ竹箸づくり、材料準備(ブンブンセミ等)の実践体験を行いました。

指導者2名、会員6名(内新規入会者2名)で実施し、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。

※ 2022年 熊本県「くまもと環境大賞」受賞

※ 2022年 熊日「緑のリボン賞」受賞

※ 2022年 環境大臣賞(環境保全功労者表彰) 受賞

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式第16号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

- ・令和4年度 エコ村伝承館 事業報告書
- ・令和4年度 エコ村伝承館 出納簿（支出項目別）
- ・令和4年度 エコ村伝承館 活動実績（熊本市内を抜粋）
- ・令和4年度 エコ村伝承館 活動状況写真
- ・令和4年度 エコ村伝承館 個人別実施日別交通費／人件費 一覧表

(3) その他参考となる資料

熊本市市民公益活動支援助成基金助成対象イベントの交通費確認 Mapfan で検索の一例

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	200,000	材料費の徴収 ※材料費は100~200円/人×24回
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	37,513	会費、受託金の一部より充当
当該事業に対する助成申請額	160,000	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	397,513	

◆支出決算(事業別)

支出費目		事業名	事業1	事業2	事業3	合計
			依頼イベントへの参加	エコ村伝承館会員への指導者教育		
助成対象経費	人件費		230,000	4,000		234,000
	報償費		0	0		0
	旅費		79,400	8,800		88,200
	人件費等合計【A】		309,400	12,800		322,200
	役務費		5,648	0		5,648
	使用料・賃借料		0	4,000		4,000
	事務・消耗品費		50,751	1,914		52,665
	委託費		0	0		
	合計		365,799	18,714		384,513
助成対象外経費	弁当代(スタッフ)		12,000	1,000		13,000
	合計(助成対象外経費)		12,000	1,000		13,000
総事業費						397,513

助成申請上限額(助成種別: ステップアップ 助成)

$$〔助成対象経費【☆】 384,513 - 控除額【E】 129943.5〕 \times 2/3 = 169713$$

※控除額…超過人件費(人件費等の合計が助成対象経費の1/2を超えた部分)とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	322,200	→	超過人件費【C】※	129943.5
助成対象経費の1/2【B】	192256.5		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	129943.5		控除額【E】	129943.5

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業1〔 依頼イベントへの参加（リピート対応と西、南区の新規開拓を含む） 〕

人件費	1000 円/半日の活動費×36 人＝36, 000 円 2000 円/全日の活動費×97 人＝194, 000 円
報償費	0
旅費	スタッフの自宅からイベント会場までの交通費 （別表添付） 旅費合計 79, 400 円
役務費	会員その他への資料送付など （別表添付） 役務費合計 5, 648 円
使用料・賃借料	0
事務・消耗品費	ものづくり体験で作るものの各材料を購入 （別紙参照） 今年度は新型コロナ対応のアルコールなども購入 事務・消耗品費合計 50, 751 円
委託費	0

事業2〔 エコ村伝承館会員への指導者教育（スキルの向上とノウハウの継承） 〕

人件費	研修指導費 2, 000 円×2 名＝4, 000 円 （今年度は1 回実施）
報償費	0
旅費	研修受講者、講師が研修場所までの交通費 旅費合計 8, 800 円
役務費	0
使用料・賃借料	一泊研修会 4, 000 円
事務・消耗品費	資料（マニュアルなど）配布などでコピー用紙を購入 事務・消耗品費合計 1, 914 円
委託費	0

事業報告書

実施年度	令和４（2022）年度
事業名	熊本市市民公益活動支援基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開
事業期間	令和４年４月１日　～　令和５年３月　25日
事業の目的	私たちが取り組む活動によって、子どもたちが大人になっていく過程において自然や環境を大切にするという気持ちが育まれていき、大きくなってから社会のなかで役に立てることを願っています。
具体的な 事業内容	熊本市内での年間活動２４回の中で、依頼イベントが、学童保育など３回、子ども食堂２回、幼稚園・学校３回、熊本市など１４回と、公共・老人会が２回でした。 事業１. 依頼イベントへの参加に当たっては 材料調達（竹の切り出しとカット、ビーズの袋詰めなど）と参加スタッフの募集連絡、当日の移動と指導、活動報告書作成など実施。 ※竹の切り出しに当たっては、放置竹林での高齢な地主様との交渉で、タケノコの伐採、倒れた竹の片づけなども実施しました。 ① 日時・場所 ・幼稚園・学校などでは２時間で 20 分程度の環境の座学と体験学習、・公共団体のイベントでは 10 時～15 時（又は 16 時）まで ② 内容（1 イベントに複数種類あり） ・ブンブンセミ１８回 ミニ門松づくり１回 竹トンボ８回 水てっぽう７回 リグラスアート１回 UV ビーズストラップ１５回 水引きストラップ３回 紙漉き１回 でした。 ③ 講師・スタッフ ・エコ村伝承館会員 延べ１３７人 ④ 広報 ・熊本県環境センターのHP、会員による Facebook 公開中 ・各イベントでのパンフレット・名刺などの配布と内容説明実施 ⇒パンフレットを見ての問い合わせ、依頼に繋がりました。 事業２. 今年度は新型コロナ禍ではありましたが、一段落した時に一泊研修会で、エコ村伝承館会員への指導者教育（スキルの向上とノウハウの継承）と マイ竹箸制作（小刀の使い方実施）、ブンブンセミの材料の準備体験を行いました。 また、だれでも同じ指導ができるように、マニュアルの作成・配布と、指導に当たっての注意点について説明を行いました。 ※今年度の研修会は１回
実施場所	熊本市内（中央区 11 回 東区 3 回 西区 1 回 南区 2 回 北区 7 回）
協力団体	熊本県環境センター　：問い合わせ仲介、団体内での講話会での講師派遣など

事業の効果 ・公益性	活動は、コロナ禍の為、特別養護老人施設や公共での催しなどで中止されたため、屋外での3密を避けての活動を増やしました。 依頼団体は、熊本市より「くまもと花と緑の博覧会」のイベント参加を依頼され水前寺成趣園7日間、立田山4日間で多くの皆さんに楽しい時間を過ごしていただきました。また「くまもと文化祭」でも花畑公園内でイベント出展できました。そのほか、放課後学級、子ども地域食堂ではリピートで毎年の計画で依頼を受けています。 研修会では、コロナ禍が下火になった時に一泊での研修を実施し、新入会員を対象に、指導者2名、会員6名で実施し、材料の準備での実働と、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。 また、SDGsについての理解を深め、子どもたちにきちんとした内容で教えることが出来るようにするため、場所を変えて、日帰りでの研修を実施しました。
次年度以降の事業展望	今後も、市内全域にわたって、イベントの開催を促進し、エコ村伝承館の活動の効果で、多くの子供たちに『地球環境の保護のために自分たちは何をしなければならないか』をしっかりと身につけていけるようにいたします。 また、新規会員の加入を進め、ベテラン会員のスキルを学ぶ場を設け、会の活動の継続と発展を図ります。 熊本市土木部公園課よりの連絡で、(アクションプログラム)で立田山エリアでの竹細工づくり体験での協力依頼を受けており、5年計画の中でエコ村伝承館の特長を活かした活動ができると思います。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	今年度は、エコ村伝承館独自での講習会を実施し、熊本県環境センター主催のエコロジスト・リーダー研修会には、多くの会員が参加し、SDGsに対する講義や、マイクロプラスチックでの問題点について学び、プラスチック再生工場の見学を行いました。 その結果、伝統と自然を愛する心豊かな熊本市民による、大きな自然災害を乗り越えた、エネルギーあふれる熊本市の未来に向けた発展の一助になりたいと思います。